

成長戦略の検討体制について

日本成長戦略会議

連携

経済財政諮問会議

17の戦略分野における官民連携での危機管理投資・成長投資の促進

新設 戦略分野分科会 1月～

(分科会長：副長官（衆）、分科会長代理：副長官補（内政）、
関係省庁局長級)

① AI・半導体 新設 AI・半導体WG 1月～	◎人工知能戦略大臣 ・関係省庁（NS、警察、金融、デジタル、総務、外務、文科、厚労、農水、国交、環境、防衛） ・有識者 9名	◎経産大臣	◎国土強靭化大臣（出席） ・関係省庁（内閣府（防災）、総務、厚労、文科、国交） ・有識者 19名
② 造船 新設 造船WG 1月～	◎国交大臣 ◎経済安全保障大臣 ・関係省庁（NSS、内閣府（科技）、入管、外務、文科、経産、環境、装備） ・有識者 7名	◎経産大臣	◎国土強靭化大臣（出席） ・関係省庁（内閣府（防災）、総務、厚労、文科、国交） ・有識者 19名
③ 量子 新設 量子WG 1月～	◎科技政策大臣 ・関係省庁（総務（政務）、外務、文科（政務）、経産（政務）、防衛） ・有識者 7名	◎デジタル大臣 ・関係省庁（文科、厚労、経産（いすれも政務）） ・有識者 10名	◎創薬・先端医療 新設 創薬・先端医療WG 1月～
④ 合成生物学・バイオ 新設 合成生物学・バイオWG 1月～	◎経産大臣 ・関係省庁（内閣府（科技、健康医療）、文科、厚労、農水、国交） ・有識者 12名	◎デジタル大臣 ・関係省庁（文科、厚労、農水、国交） ・有識者 7名	◎マテリアル（重要鉱物・部素材） 産業構造審議会 製造産業分科会 ◎経産大臣（出席） ・関係省庁（内閣府（科技）、外務、文科、環境） ・有識者 15名
⑤ 航空・宇宙 新設 航空・宇宙WG 1月～	◎経済安全保障大臣 ・関係省庁（内閣府（宇宙）、総務、文科、経産、国交、防衛） ・有識者 10名	◎金融大臣、副長官（衆） ・関係省庁（金融、総務、法務、財務、文科、厚労、経産） ・有識者 10名	◎防災・国土強靭化 国土強靭化推進会議 2月～
⑥ デジタル・サイバーセキュリティ 新設 デジタル・サイバーセキュリティWG 1月～	◎経産大臣 ◎デジタル大臣 ・関係省庁（総務、文科、厚労） ・有識者 11名	◎労働大臣 ・関係省庁（内閣官房（成長戦略）、内閣府（規制）、経産省、国交省、文科省） ・有識者 11名	◎新設 分野横断的課題への対応 ②【人材育成】 新設 人材育成分科会 1月～
⑦ コンテンツ 新設 コンテンツ産業官民協議会 1月～	◎CJ戦略大臣 ・関係省庁（公取（審議官級）、総務、外務、文科、経産） ・有識者 15名	◎港湾ロジスティクス 新設 港湾ロジスティクスWG 1月～	◎スタートアップ 新設 スタートアップ政策推進分科会 1月～
⑧ フードテック 新設 フードテックWG 12月～	◎農水大臣 ・関係省庁（経産） ・有識者 7名	◎防衛大臣 新設 防衛産業WG 1月～	◎金融 新設 新戦略策定のための資産運用立国推進分科会 1月～
⑨ 資源・エネルギー・安全保障・GX GX実現に向けた専門家WG 1月～	◎経産大臣（出席） ・関係省庁（外務、財務、経産、環境） ・有識者 7名	◎情報通信 新設 情報通信成長戦略官民協議会 1月～	◎労働市場改革 新設 労働市場改革分科会 1月～
⑩ 海洋 新設 海洋WG 1月～	◎海洋政策大臣 ・関係省庁（NSS、内閣府（科技、宇宙）、外務、文科、水産、経産、国交、海保、環境、防衛） ・有識者 10名	◎家事等の負担軽減 新設 家事等の負担軽減に資するサービスの利用促進に関する関係府省連絡会議 1月～	◎賃上げ環境整備 再編 賃上げに向けた中小企業等の活力向上に関するWG （副長官（参）ヘッド・内閣官房副長官補（内政）、内閣官房（補室（審議官級）、成長戦略、地域未来）、警察、金融、総務、財務、国税、文科、厚労、農水、経産、中企、国交、環境） ・有識者 18名

量子WG

WG長 内閣府特命担当大臣（科学技術政策）

WG長代理 内閣府副大臣 及び 内閣府大臣政務官

構成員

伊藤 公平 慶應義塾塾長

遠藤 典子 早稲田大学研究院教授

島田 太郎 量子技術による新産業創出協議会代表理事

鈴木 一人 東京大学公共政策大学院教授

波多野 瞳子 東京科学大理事・副学長

益 一哉 (国研) 産業技術総合研究所量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センターセンター長

松岡 智代 (株) QunaSys COO

関係行政機関（特段記載のないものは局長級）

総務省（政務）、外務省、文科省（政務）、経産省（政務）、防衛省

オブザーバー

有識者会議「量子技術イノベーション」構成員
関連業界・ユーザー企業

今後の予定

2026年

- 1月30日（金）17:00（第1回）
○量子技術の研究・产业化、民間投資の状況
○主な論点に関する意見交換

- 2月16日（月）10:00（第2回）
○供給力強化・国家安全保障に関する検討
○量子コンピュータに関する検討

- 3月26日（木）15:00（第3回）
○人材の育成に関する検討
○国際競争力・国際連携の強化に関する検討
○量子暗号通信に関する検討

- 4月22日（水）10:00（第4回）
○民間投資の促進策、SU育成に関する検討
○量子センシングに関する検討

- 5月18日（月）10:00（第5回）
○官民投資ロードマップ（案）の提示

戦略17分野における「官民投資ロードマップ」に盛り込むべき内容

- 日本成長戦略本部・会議等における総理指示を踏まえ、17の戦略分野毎の担当大臣において、今春までに、下記の項目を盛り込んだ、政府による多角的・戦略的な供給力強化策(※)をとりまとめる。
(※)供給サイドに直接働きかける措置のみならず、戦略的投資促進に繋がる規制改革や国際標準化・海外市場開拓等の需要サイドからの政策も含めるなど、次頁に記載の「5つの基本的考え方」を踏まえたロードマップとする。
- **検討の大枠**：※今後の成長戦略会議等の議論次第で細かな内容含め変わり得るが、分野別WGの立ち上げを見据え、先んじて検討の大枠を示すもの。
 - ① 当該分野の現状認識と目指す姿（目標）を整理し、
 - ② 日本としての勝ち筋の特定に加え、官民投資の具体像と定量的インパクトの見込み（道筋）を示した上で、
 - ③ 実行に向けた課題を整理し、これを解消するために必要な、複数年度の予算措置コミットメントや税制など投資の予見可能性向上に繋がる政策パッケージ（政策手段）を提示する。

1. 当該分野の現状認識と目指す姿 【目標】

(1) 現状の整理

- ① 当該分野の現状
- ② 当該分野を取り巻く環境と構造変化
- ③ 経済的・戦略的な重要性

(2) 当該分野の目標

- ① 国内外で獲得を目指す市場
- ② 達成すべき戦略的な目標

2. 勝ち筋の特定と官民投資の具体像、 定量的インパクト【道筋】

(1) 基本戦略

- ① 当該分野における勝ち筋
- ② 我が国として構築すべき機能

(2) 官民投資の具体像

- ① 投資内容
- ② 投資額・時期

(3) 定量的なインパクト

3. 官民投資促進に向けた課題と 政策パッケージ【政策手段】

(1) 投資促進に向けた課題

(2) 講じるべき政策パッケージ

- ① 国内投資支援
- ② 需要創出・市場確保
・社会実装支援
- ③ 立地競争力強化
- ④ 国際連携

＜参考＞官民投資ロードマップ策定に当たっての「5つの基本的考え方」

【1】大胆な政策パッケージによって民間投資を引き出すことで、企業による自律的・継続的な成長を実現する

- ✓ 「責任ある積極財政」の下で政策リソースを投じることを踏まえ、獲得すべき市場・戦略目標の設定・投資のコミットメントと、その実現に向けた「勝ち筋」の特定・共有を官民で連携して実施する
- ✓ 政策効果を最大化させるため、ファイナンスによるレバレッジの確保等の政策的工夫を講じる

【2】民間投資のボトルネック（不確実性要因、リソース制約）の解消と、更なる投資を促すアクセラレーターの保有を両輪とする

- ✓ こうした投資促進に向けた課題を特定した上で、企業の予見可能性を高める政策パッケージを組成する

【3】経済安全保障の観点から、我が国の自律性・不可欠性確保を実現する

- ✓ チョークポイントとなる資源・部素材等の調達先の多様化、資源循環等の政策的工夫をビルトインする
- ✓ 国際的な産業構造の中で我が国が不可欠となるための製品・技術等の維持・強化（技術流出の防止等）や市場拡大を図る
- ✓ 「国内で構築すべき機能」と「有志国等と連携して構築すべき機能」の具体化を図る

【4】政策パッケージは、事業フェーズを踏まえた上で、「需要・市場の創出・形成」と「新たな技術の社会実装」を重視する

- ✓ 官公庁の調達・規制改革による需要創造（国内）、国際標準化戦略・海外市場開拓（海外）など、国内外連動した戦略的な「需要・市場の創出・形成」をビルトインする
- ✓ 世界共通の社会課題を解決する「新たな技術」を積極的に発掘し、社会実装に至るまでの一気通貫した政策を展開する

【5】戦略17分野と分野横断的課題の戦略的な相互連携を図る

- ✓ 戦略17分野の政策検討にあたっては、分野横断的課題における議論状況を踏まえたものとする
- ✓ 分野横断的課題の検討にあたっても、戦略17分野の議論の結果、発掘された政策ニーズを踏まえたものとする